

市民を守る

ひとしほしいいねーで確認 火の用心

消防 ひとたちのおた



常陸太田市の消防は消防本部と南消防署、北消防署、里美出張所、金砂出張所の4拠点で構成されています。平成31年4月1日現在、総勢88人の職員が市民の安全確保のために尽力。その中には消防はもちろん、救急と救助の3部門が存在し火災のときの消火活動のみならず、事故や災害時のレスキュー活動や救急車による要救護者の搬送活動も含まれます。

寒い季節になると心配になってくる火災。全国の火災発生件数を見てみると、10月から徐々に増加傾向となり乾燥している冬から風の強くなる春にかけてピークを迎えます。平成30年に市内で発生した火災は33件。その損害額は7千万

円を超える被害です。また曜日別で見ると月曜日の発生が多く、時間帯では午後5時〜6時に発生した火災が最も多く見受けられました。また、平成26年から過去5年間の出火原因を調べてみると、たき火による出火が最も多く、近年では電気関係および車両の排気管から発生する火災が多いのも特徴です。

救急出動件数は年々増加しています。平成30年の救急出動件数は実に2395件。中には、「病院で早く受診できる」「急を要する症状はないけれど病院まで行く移動手段がないから」という理由などで出動を要請するケースが増えています。本当に必要な人を助けるためにも、救急車の適正利用はとても重要です。

消防職員は緊急の事態に備え、日ごろから訓練を怠りません。消防係であれば、2階建て、3階建てであっても駆けつけられるようにと、消火ホースを肩に背負いながらホースを延ばし放水したり、救急係であれば救急救命に関する実施訓練を日ごろから行っています。

また、レスキュー隊員が活躍する救助係では、竜神ダムや貯水池等で起こるかもしれない水難事故にそなえて潜水救助訓練も実施しています。



火災をはじめさまざまな災害も想定した訓練をしています。消防職員が活躍しないことが、何より大切です。これからも火災や事故を起こさない生活を心がけていきましょう。